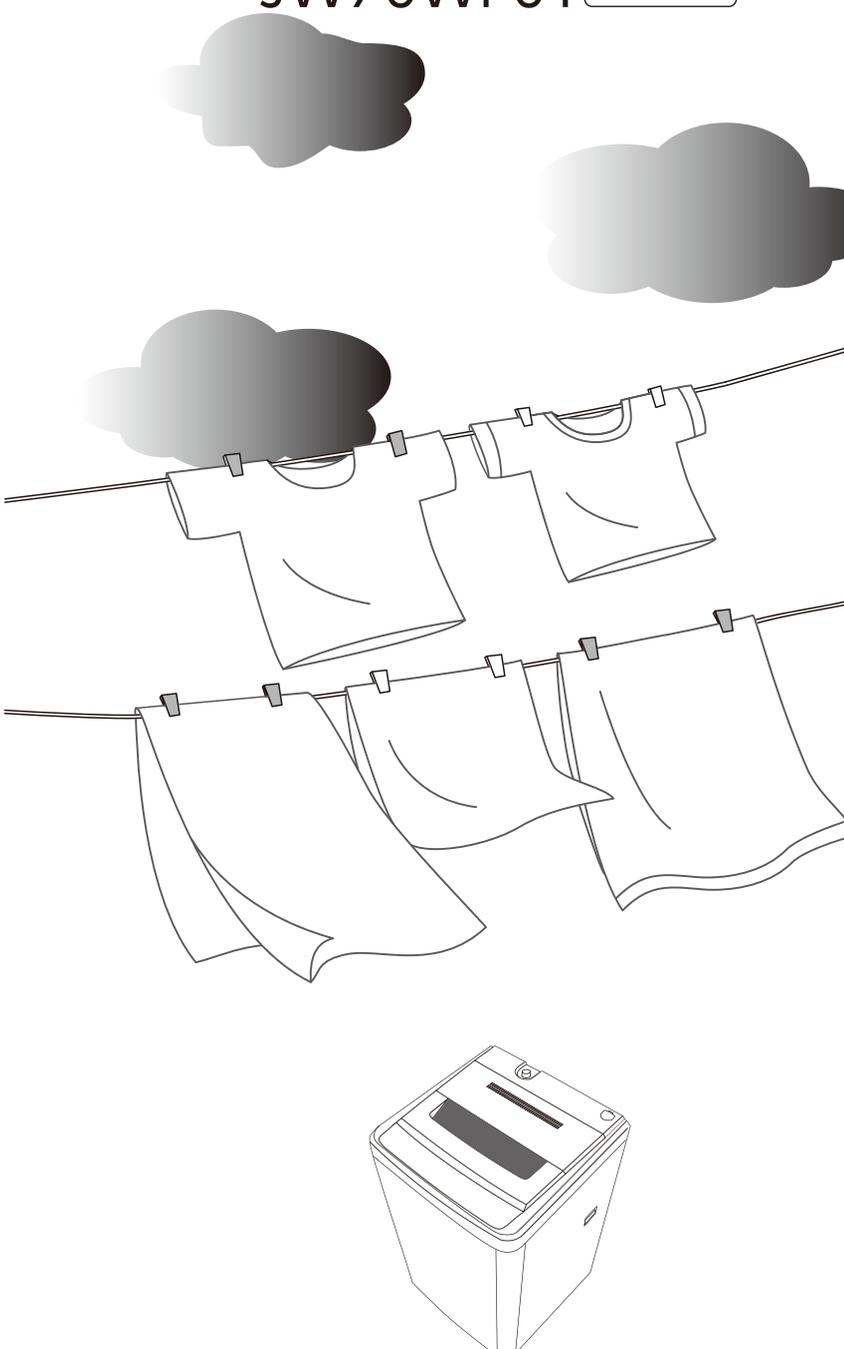




全自動電気洗濯機（家庭用）

品番：JW60WP01 風乾燥機能付き
JW70WP01

もくじ



ご使用前の

- 安全上のご注意..... 2
- 各部のなまえ／付属品..... 4
- ふたロック(チャイルドロックの設定／解除) ... 4
- 操作パネル部のはたらき 5
- 洗濯の前に..... 6
- 洗剤類の使いかた 8
 - 使用量
 - 粉石けん
 - 洗剤・漂白剤
 - ソフト仕上剤
 - のりづけ
- 各コースの運転内容 10
- 環境に配慮した使いかた 11

使いかた

- おまかせで洗濯..... 12
- 自分流の運転内容を記憶させる 13
- 毛布などの大物の洗濯..... 14
- 風乾燥をする 15
- 予約運転をする..... 16
- 運転内容をお好みで変更する..... 17

必要なとき

- こんなときは 18
 - 凍結の恐れがある
 - 洗濯液を2度使いたい
 - 終了ブザー音を消したい
 - 運転途中で変更したい
- お手入れ 19
 - 本体
 - 給水口
 - 糸くずフィルター
 - 洗剤投入トレイ
 - 洗濯・脱水槽 (槽洗浄)
- 据え付け 21
- 故障かな?と思ったら..... 26
- こんな表示がでたら 28
- 保証とアフターサービス 29
- 消費生活用製品安全法・安全表示制度に基づく
本体表示について 29
- 仕様 29
- 愛情点検 30

このたびは、全自動電気洗濯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。保証書は必ず記入事項を確かめて、販売店からお受け取りのうえ、この説明書とともに大切に保管してください。

上手に使うって上手に節電

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に阻止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

死亡や重症を負うことが想定される内容です。



注意

傷害や物的損害の発生が想定される内容です。

■お守りいただく内容を次の表示で区分し、説明しています。



してはいけない「禁止」内容です。



必ず実行していただく「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

洗濯・脱水槽



- 幼児には洗濯・脱水槽をのぞかせない
- 本体の近くに台などを置かない
(洗濯・脱水槽内に落ちる、けがの原因)



- 回転中の洗濯・脱水槽内に手などを入れない
完全に止まるまでは、絶対に触らないでください。
(けがの原因) 特にお子さまにはご注意ください



- 引火物を入れない
灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールやそれらの付着した洗濯物を入れたり、近づけたりしないでください。(爆発・火災の原因)



本体



- 操作部付近に磁石など磁気を帯びたものを近づけない
(上ぶたが開いた状態でも洗濯・脱水槽が回転する恐れ)



- 動かない・煙が出た・変な臭いや音がするなどの異常を感じたら、電源プラグをコンセントから抜き、すぐ販売店に点検・修理を依頼する(感電・漏電・ショートによる火災の原因)
- 排水ホースの付け換え時には、必ず手袋をする(けがの原因)

電源プラグ・電源コード



- 電源コードや電源プラグが傷んでいるときや、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
(感電・ショート・発火の原因)
- 傷付け・加工・破損・無理な曲げ・たばねる・引っ張る・ねじる・重いものをのせる・はさみ込むなどしない
(破損して、火災・感電の原因)
- ぬれた手で抜き差ししない
(感電の原因)



- 定格 15A・交流 100V のコンセントを単独で使う
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
(火災・感電の原因)
- 定期的に電源プラグのほこりなどをよく拭き取る
(ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因)
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く
(感電・けがをする原因)
- アースを取り付ける
(故障や漏電のときに感電する原因)
必ず電気工事店や販売店に依頼してください。
工事費は本体価格には含まれません。



上ぶた



- ロックしている上ぶたを無理に開けない
(上ぶた・ロック機構の破損、けがの原因)
- 上ぶたの折れ曲がり近くに手を置いたまま、上ぶたを開閉しない
(手や指をはさみ、けがの原因)

その他



- お手入れなどで水をかけたり、浴室や風雨にさらされる場所に置かない
(感電・火災・故障の原因)



- 絶対に分解・修理・改造はしない
(火災・感電・けが・水もれの原因)
修理はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
こんな表示がでたら⇒P28
- 火気を近づけない
ローソク、タバコ、蚊取り線香などを近づけないでください。
(火災・変形の原因)
- ライター・火気のあるものをポケットなどに入れて一緒に洗濯しない
(火災・変形の原因)

注意

据え付け

- 直射日光のあたる場所には置かない
(プラスチック部品の色や形が変わる原因)
- 冬期に凍結の恐れのある場所に置かない
- 上にのぼったり、物を置かない
(けがや感電の原因)
- さび・砂鉄の含まれる水は使わない
(井戸水・さびた給水管などの使用は水もれ・故障の原因)



電源コード

- 電源コードを抜くときは、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
(感電・ショートして発火する原因)
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
(絶縁劣化による感電・漏電火災の原因)



万が一、電源コードにダメージが発生した場合、製造元・アフターサービス会社、或いは専門の技術を持った方に修理を依頼してください。

確認すること

- 運転前は水栓を開き、水もれがないか確認する
(水もれの原因)
- 運転終了後は、必ず水栓を閉める
(水もれの原因)

運転中

- 運転中、本体の下に手や足を
入れない
(けがの原因)
- 50℃以上のお湯は使わない
(感電・漏電の原因)



洗濯物

- 防水性のマット・シートや衣類、足拭きマットなどの固くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水をしない

洗濯物が飛び出したり、異常振動によるけが、本体・かべ・床などの破損、衣類の損傷、水もれ被害などの原因となります。

足ふきマットなど固くて厚いもの
オムツカバー・雨ガッパ・カーペット
ウインドブレーカー・サウナスーツ
ウエットスーツ・スキーウェア・寝袋
自動車などのカバー・防水シートなど
その他、防水性の水を通しにくいもの

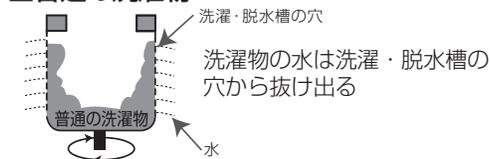


■防水性衣類の確認方法

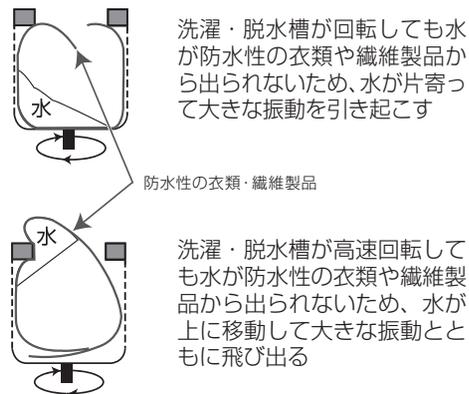
衣類に口を当て、息を吹き付けて息が通らない場合は、防水性衣類です。

脱水のご注意

■普通の洗濯物



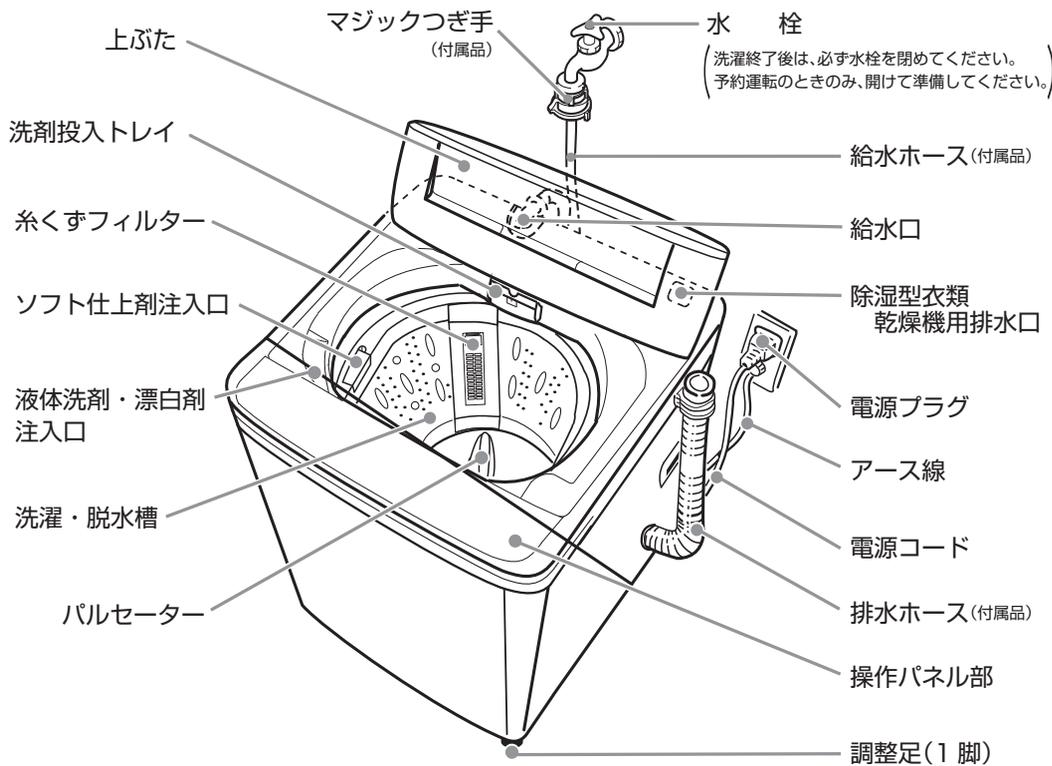
■防水性の衣類・繊維製品



お願い

- 雷が発生したときは、早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。落雷により故障することがあります。
- 上ぶたが破損したり、脱水中に上ぶたを開けたときに洗濯・脱水槽が回っている場合は、直ちに修理を依頼してください。けがの原因になります。

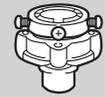
各部のなまえ／付属品



付属品

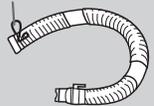


給水ホース(1本)
(長さ 約80cm)



マジックつぎ手(1個)

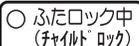
ホースバンド(1個)



排水ホース(1本)
(長さ 約80cm)

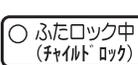
ふたロック(チャイルドロックの設定／解除)

ふたロック

安全のため、洗い後～運転終了まで上ぶたはロックされます。(ロック中は  が点灯します)

ふたロック中に上ぶたを開けたいとき

●運転中のとき

 を押し、一時停止する ▶ 「ピピッ」と鳴り、 が消灯後、開けてください

●電源が入ってないとき (停電や電源プラグがコンセントから抜けたとき)

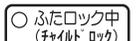
電源を「入」にする ▶  が消灯後、開けてください

チャイルドロックの設定／解除

お子さまの安全のため、チャイルドロックを設定すると運転が終了しても上ぶたはロックされたままで開けられないようになります。一時停止や電源を入れ直してもロックは解除されません。

- 上ぶたを開けるためには、チャイルドロックを解除して、設定なしの状態にしてください。
- チャイルドロックの設定／解除は、電源「入」の状態ですいつでもできます。

設定するとき

水量 を約 4 秒以上押し続ける▶「ピー」と鳴り、 が消灯または点灯から点滅に変わります。

解除するとき

上記と同じように操作する▶「ピピッ」と鳴り、 が点滅から消灯または点灯にもどります。

操作パネル部のはたらき

本ページのイラストはJW60WP01で説明しています。

残時間・予約時間などを表示します

残時間表示

(例)残り 20 分の場合



◇99 分をこえるとき

2H (2時間)、3H (3時間)と表示し、10時間以上は -- と表示します。

予約時間

(例)6時間後に運転を終了させる場合



注水すすぎ時



異常発生時

(例)給水しない場合



点滅とブザーでお知らせ
→P28

布量検知中

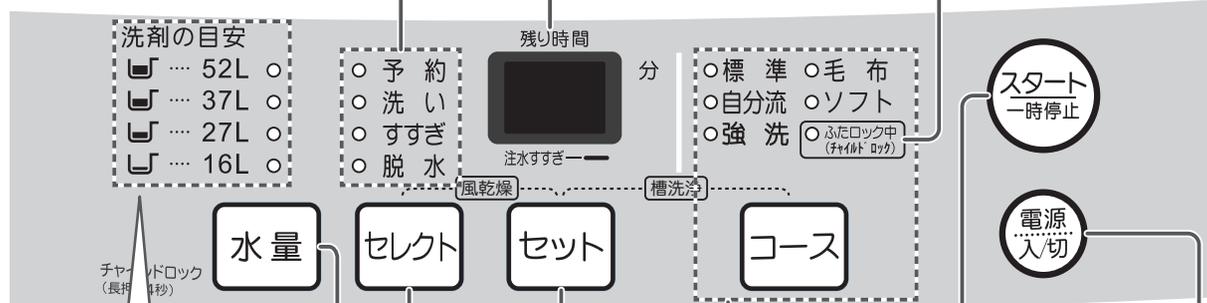


行程表示

- 運転中の行程を点滅、残りの行程を点灯で表示します。
(予約待機中は「予約」のみ点灯)

ふたロックランプの状態

- 点灯中…上ぶたはロックされ開きません。
- 消灯中…上ぶたを開けることができます。
- 点滅中…チャイルドロックを設定すると解除するまで点滅します。



☐は粉末合成洗剤 (水30Lに対し20g)の スプーンを基準にしています。
(すりきり1杯約47gのもの)

セット

- 「洗い」「脱水」「予約」の時間、「すすぎ」の回数や方法の設定に
- 凍結防止(残水排水)設定に →P18

スタート/一時停止

- スタートするときに
- 一時停止するときに 再び押すと運転を再開します。
- 上ぶたのロックを解除するときに →P4
- 終了ブザー音を消すときに →P18

水量

- 洗濯量に応じて水量を無段階に自動設定します。16Lは自動設定しません。
- 手動で設定する場合は、4段階の水量が選べます。
- お好みの水量に切り換えられます。

セレクト

- 「洗い～すすぎ」「脱水のみ」などのお好みの設定に →P17
- 予約運転に →P16

コース

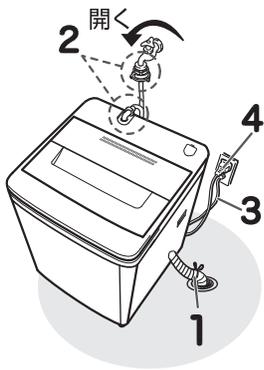
- 洗濯物の汚れや種類に応じてコースを選びます。
- 選んだコースのランプが点灯します。

電源 切/入

- 電源の「入」「切」に
- オートオフ (自動的に電源が切れます)
 - 運転終了時……約5秒後 凍結防止(残水排水)設定時は、10分後に切れます。→P18
 - スタートさせずに10分間 放置したとき
- 電源を入れると記憶しているコースの内容が点灯します。

洗濯の前に

本体の準備



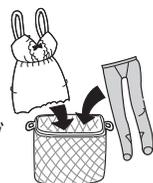
- 1 排水ホースを排水口に差し込む
 - 排水ホースの抜けがないか確認してください。
- 2 給水ホースをつなぎ、水栓を開ける
 - マジックつぎ手や給水ホースの接続部などから、水もれがないか確認してください。⇒P24~25
- 3 アースを取り付ける ⇒P25
- 4 電源プラグをコンセントに差し込む

デリケートな衣類を守る 洗濯ネットの利用

洗濯ネットに入れるもの

■傷みやすい衣類

- レースのついた衣類
- ランジェリー
- ナイロンストッキング
- 化繊のうす物 など



■ワイヤー入りのブラジャー

➔ 必ず市販のネット(細かい網目)に入れる

- ワイヤーが飛び出し、本体や他の洗濯物を傷める原因になります。

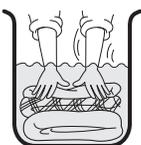


ご注意

- ワイヤーなどの芯材が入った洗濯ネットは、使わないでください。
- ネットに衣類を詰め込みすぎないでください。

衣類の入れかた

- カーテンなどの大物・水に浮きやすいもの・厚手の衣類(ジーンズ・柔道着など)は、水に浮かないように均一によく押し込んでください。
- 洗濯物は入れすぎないでください。
- 水に浮きやすいものや大物から先に入れてください。



給水時に水が飛び散り床がぬれる・汚れがよく落ちない・脱水時にはみ出して衣類や本体が破損する原因になります。

汚れがひどいものは 前処理をする

部分洗い用洗剤や漂白剤を利用してください。

しみ汚れ

- 酸素系液体漂白剤やしみ汚れ用洗剤などを塗って洗う。食べ物のしみの場合、付いたらすぐに汚れを取り除く。



えり・そで汚れ

- 洗剤液をつけ、ブラシなどで軽くたたいて落とす



泥や砂汚れ

- 石けんや専用洗剤をつけてもみ洗いをする。
- ブラシなどで落とす。(本体の故障を防ぐため)



黒ずみや黄ばみを抑える

- 洗剤が少なかったり、柔軟剤を入れすぎると黒ずみや黄ばみの原因になります。
➔ 適正な量をお使いください。

きれいに仕上げるために

糸くずが気になるもの → P27

- ◎ 気になる衣類は、分けて洗う。
- ◎ タオル・バスタオルとは、分けて洗う。
- ◎ 市販の糸くず防止ネットや細かい網目の洗濯ネットに入れて洗う。
- ◎ 裏返して洗う。

飾りのある衣類、起毛素材の衣類は裏返して洗う

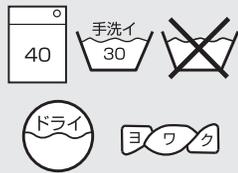
- ◎ 衣類の傷み、毛玉を防止するためです。



飲料水、化粧水が付着した衣類を長時間放置しない

- ◎ まれにピンク色に変色することがあります。すぐ洗い流してください。

衣類の絵表示に従う



新しい色柄物・色落ちしやすいものは分け洗いをする

■色落ち確認方法

洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認する。



ポケットの中に何も入っていないことを確認する

カーテンフック、ワイシャツのプラスチッククリップなどは必ず取り外す

- ◎ 排水経路にゴミや異物が詰まったり、衣類や本体を傷め、異常音・故障の原因になります。



ひもは結ぶ、ボタンは留める ファスナーは閉める マジックテープは止める

- ◎ 衣類や本体を傷つける恐れがあるためです。



衣類の絵表示(例)



40℃以下で洗濯機で洗濯ができる



40℃以下で洗濯機の弱水流で洗濯ができる



30℃以下で弱い手洗いがよい



水洗いはできない



ドライクリーニングができる



塩素系漂白剤による漂白はできない



洗濯機で脱水するときは、短時間にする



ハンガーなどに干すのがよい



平らなところに広げて干すのがよい



日陰で平らなところに広げて干すのがよい

洗剤類の使いかた

● 使用量

水量	洗濯量 【乾燥布】 (以下)	洗剤の 目安 水30L に対し→	合成洗剤					粉石けん	ソフト仕上剤		酸素系 液体漂白剤		
			粉末		液体				40g	7mL (濃縮タイプ)	20mL (一般タイプ)	20mL	40mL
			20g	25g	20mL	25mL	40mL (中性洗剤)						
55L	7.0kg	0.8杯	37g	46ml	37ml	46ml	73ml	73g	13ml	37ml	37ml	73ml	
52L	6.0kg	0.7杯	35g	43ml	35ml	43ml	69ml	69g	12ml	35ml	35ml	69ml	
37L	4.0kg	0.5杯	25g	31ml	25ml	31ml	49ml	49g	9ml	25ml	25ml	49ml	
27L	2.0kg	0.4杯	18g	23ml	18ml	23ml	36ml	36g	6ml	18ml	18ml	36ml	
16L	1.0kg	0.2杯	11g	13ml	11ml	13ml	21ml	21g	4ml	11ml	11ml	21ml	

● 洗剤の目安は、1杯が約47g(水30Lに対し20g)のスプーンに合わせています。洗剤によりスプーン1杯の洗剤量が異なります。お使いの洗剤容器の「使用量の目安」に従ってください。

● 洗剤は、洗濯量と汚れの程度に応じて入れてください。

・ 汚れが多い場合は、洗剤量を増やし、軽い汚れの場合は、上表の半分程度が適量です。

・ 洗剤は入れすぎないでください。すすぎが不十分になり衣類に残ります。

特に液体洗剤は、軽い汚れでは泡立ちがよくなるので入れすぎにご注意ください。

軽い汚れとは、汗やほこりの様な脂分をほとんど含まない汚れのことです。

● 洗濯量は、JIS(日本工業規格)規定の布地を使用した場合のもので、洗濯物の厚さ・大きさ・種類により洗濯量が変わります。洗濯物の動きが悪いときは、洗濯量や水量(多めに)を調節してください。

洗濯物の重さの目安

作業着上・下 (混紡)約800g	ジーンズ (綿)約600g	パジャマ上・下 (綿)約500g	バスタオル (綿)約300g	ワイシャツ (混紡)約200g	アンダーシャツ (綿)約130g	ブリーフ (綿)約50g	くつ下 (混紡)約50g

粉石けん 溶け残りを防ぐため、あらかじめ溶かしてください。

- 1 水栓を開け、電源を入れ、**コース**で「標準」を選ぶ
- 2 **水量**を16Lに、**セレクト**と**セット**で「洗い3分」に設定し、**スタート一時停止**を押す お好み設定 → P17
- 3 給水が止まったら、粉石けんを洗濯・脱水槽に入れ、上ぶたを閉めて洗剤を溶かす運転をする
- 4 電源を入れ直し、洗濯物を入れて希望のコースと水量を設定する
- 5 **スタート一時停止**を押し、上ぶたを閉める

■ 溶けにくい場合

- 1 容器に約30℃のぬるま湯(約5L)を入れる
- 2 十分かき回しながら、粉石けんを少しずつ入れる
- 3 固まったり、粒が残らないようによくかきまぜ、洗濯・脱水槽に入れる
- 4 洗濯物を入れ、水栓を開け、電源を入れて希望のコースと水量を設定する
- 5 **スタート一時停止**を押し、上ぶたを閉める



お願い

- 粉石けんは、すすぎが不十分ですと洗濯物に残り、黄ばみや臭いの原因になります。すすぎ回数を増やし、十分にすすいでください。
- 使用量が多すぎたり、水温が低いと完全に溶けずに衣類に残ったり、ホースや槽内に残った粉石けんが浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。
- 予約運転をするときは、粉石けんを使用しないでください。(固まる恐れ)

液体洗剤・液体漂白剤

洗いの給水が始まってから、入れてください。

液体洗剤

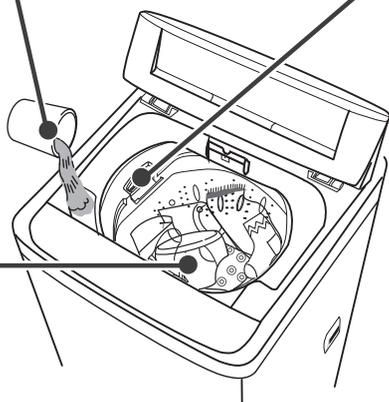
泡立ちの少ない洗剤をお使いください。

液体漂白剤

- 色物には色物専用の漂白剤を使用してください。
- 塩素系の漂白剤を直接洗濯・脱水槽に入れたり、洗濯物にかけないでください。
(変色・布破れの原因)
また、予約運転時には使わないでください。

粉末洗剤 粉末漂白剤

洗濯・脱水槽に
直接入れる



ソフト仕上剤

洗濯量に合わせて、洗濯前に入れてください。
(最終のすすぎで自動的に投入されます)

1 ソフト剤注入口のカバーに指をかけて開ける



2 ソフト仕上剤を入れる

- 濃縮タイプは、2倍の水でうすめ、よく混ぜてから入れてください。
(固まる恐れ)



- 入れにくい位置にあるときは、洗濯・脱水槽を手で右方向(時計回り)に回してください。重く感じることもありますが右方向へ回すと位置は変わります。(左方向には回りません)



3 カバーを閉める

- 開けたまま運転すると給水時に水が入り、ソフト仕上剤が流れ出る場合があります。

- ソフト仕上剤は、入れすぎないでください。
(衣類の黒ずみの原因)
- 脱水中に一時停止しないでください。ソフト仕上剤の投入時期が早まり、有効にはたつきません。
- ソフト仕上剤を入れた後、長時間(12時間以上)放置しないでください。固まる場合があります。

のりづけ

洗濯できる量 1.5 kg 以下

●使用できるのり

- 洗濯機用の化学合成のり(酢酸ビニール系)
- 上記以外のもは、故障の原因になる恐れがあるので使わないでください。

1 水栓を開け、洗濯物を入れる

2 電源を入れる

3 で「標準」を選び、 を27Lに、 と で「洗い6分」、「脱水1分」に設定する お好み設定 →P17

4 スタートする

5 給水が止まったら洗濯のりを入れ、上ぶたを閉める

6 運転終了後、できるだけ早く衣類を取り出す

お願い

- のりづけした洗濯物は、衣類乾燥機で乾かさしないでください。(乾燥機フィルターの目詰まりの原因)
- 糸くずフィルターにたまった糸くずを取り除いてください。のりで固まって取れにくくなります。

のりづけ後は、洗濯・脱水槽を洗ってください。
のりが残っていると、故障の原因になります。

1 洗濯物を取り出した後、

で「標準」を選び、 を最大水量に、 と で「洗い6分」、「脱水1分」に設定する お好み設定 →P17

2 を押し、上ぶたを閉める

各コースの運転内容

〔 〕は、標準時間を表しています。

JW60WP01

コース	水量	洗い	すすぎ	脱水	所要時間
標準	16L~52L	〔10分〕 1~20分	ためすすぎ 2回	〔5分〕 1~9分	41~48分
自分流	●27L~52Lは 三段階自動設定 ●16Lは手動	〔10分〕 1~20分	シャワーすすぎ 1回 + ためすすぎ 1回	〔5分〕 1~9分	〔39分〕
強洗		〔12分〕 1~20分	注水すすぎ 2回	〔8分〕 1~9分	44~51分
ソフト	37L(自動設定水量) 52~37Lに切り換え可	〔6分〕 1~20分	ためすすぎ 2回	〔2分〕 1~3分	〔31分〕
毛布	52L(自動設定水量) 37Lに切り換え可	〔12分〕 1~20分	※注水すすぎ 2回	〔8分〕 1~9分	〔49分〕
槽洗浄	52L(自動設定水量)	1時間15分	注水すすぎ 1回12分	3分	1時間45分
風乾燥	—	—	—	—	3時間

JW70WP01

コース	水量	洗い	すすぎ	脱水	所要時間
標準	16L~55L	〔10分〕 1~20分	ためすすぎ 2回	〔5分〕 1~9分	41~48分
自分流	●27L~55Lは 三段階自動設定 ●16Lは手動	〔10分〕 1~20分	シャワーすすぎ 1回 + ためすすぎ 1回	〔5分〕 1~9分	〔39分〕
強洗		〔12分〕 1~20分	注水すすぎ 2回	〔8分〕 1~9分	44~51分
ソフト	37L(自動設定水量) 55~37Lに切り換え可	〔6分〕 1~20分	ためすすぎ 2回	〔2分〕 1~3分	〔31分〕
毛布	55L(自動設定水量) 37Lに切り換え可	〔12分〕 1~20分	※注水すすぎ 2回	〔8分〕 1~9分	〔49分〕
槽洗浄	55L(自動設定水量)	1時間15分	注水すすぎ 1回12分	3分	1時間45分
風乾燥	—	—	—	—	3時間



お知らせ

- 所要時間は、水道水圧・排水条件により変わります。(給水量が毎分 15L のときの目安)
- 洗濯・脱水槽内に初めから水があるとき・水量をお好みで設定したときは、所要時間が変わることがあります。
- 上表の※注水すすぎの 2 回目は、最初にためすすぎをします。(ソフト仕上剤の効果を出すため)
- シャワーすすぎ時、給水量が少なく(毎分約 5L 以下)、すすぎが不十分なときは、ためすすぎを 1 回追加します。

すすぎについて

● シャワーすすぎ

洗濯・脱水槽をゆっくり回し、給水と排水を同時に行いすすぎ



● ためすすぎ

設定水量まで給水後、水をためてすすぎ



● 注水すすぎ

設定水量まで給水後、注水しながらすすぎ



布量の検知 (洗濯量の計測)

スタート一時停止 スタートすると、自動的に洗濯量を計測し、水量を表示します。

水のない状態で、パルセーターが回転して布量検知をします。水量を参考に洗剤を入れてください。

「標準」「自分流」「強洗」コースで行います。

- 洗濯物がぬれていたり、初めから洗濯・脱水槽に水が入っている場合
→ 布量を重めに判定します。
- 水が底から約10cm以上入っている場合や「すすぎ」からスタートした場合
→ 布量検知をしないで、最大水量に設定されます。洗濯量に応じた水量を設定してください。
- 水量16Lは、自動設定されません。

記憶機能

「標準」「強洗」「自分流」コースは運転したコースを自動的に記憶します。(スタートから約30秒後に記憶)

次回



記憶しているコースを点灯します。



ワンタッチでスタートができます。

- 停電時や電源プラグをコンセントから抜いた場合も記憶しています。



お知らせ

変更した運転内容は記憶しません。記憶させたいときは、「自分流」コースをご利用ください。

環境に配慮した使いかた

■ 標準コース・給水量毎分15L・水量50Lの場合と比較



● 風呂水を使う

洗いの水が約52L節水できます。

● 洗濯液を2度使う → P18

コース運転を2回するの比べ、約37L節水できます。

● ためすすぎをする → P17

注水すすぎに比べ、すすぎ1回につき約33L節水できます。

本品は洗濯量に応じて水量を無段階に自動設定します。洗濯物を入れ、スタートすると布量センサーがはたらき、適切な水量を設定します。



● まとめ洗いをする

洗濯回数が減ります。

本品は待機時消費電力(電源スイッチを切にした状態の電力)が0(ゼロ)になっています。



● 軽い汚れの場合、洗剤量をいつもの半分にする → P8

汗やほこりのような脂分をほとんど含まない汚れ

● 洗濯液を2度使う → P18

洗剤量2回分が1回分で済みます。

● 洗剤を入れすぎない

おまかせで洗濯

本ページのイラストはJW60WP01で説明しています。

標準コース

綿素材の下着など、普段着を洗濯したいとき

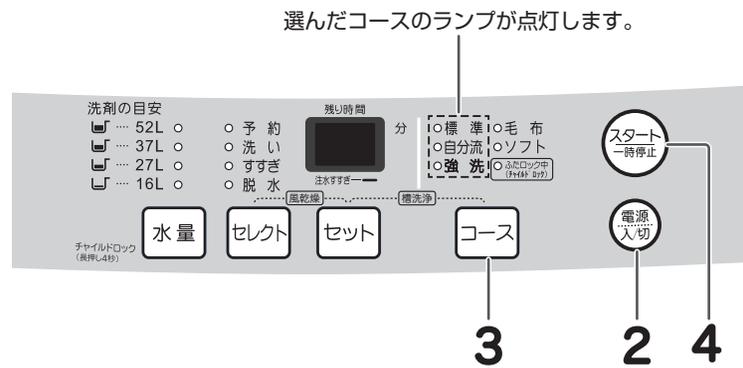
ソフトコース

布傷みをおさえて洗濯したいとき

強洗コース

がんこな汚れを洗濯したいときに

洗濯 できる量	JW60WP01 6.0 kg 以下
	JW70WP01 7.0 kg 以下
	ソフトコースは 3.0 kg 以下



1 水栓を開け、洗濯物を入れる

2 電源を入れる

3 「標準」または「ソフト」または「強洗」を選ぶ

4 スタートする ●検知中の表示

●水の無い状態で、パルセーターが回転します。(布量の検知 → P11)

5 検知後、水量・洗濯内容を表示

6 給水が始まってから洗剤を入れ、上ぶたを閉める

- 洗剤の溶け残り防止のため、洗濯・脱水槽内に均等に入れてください。
- 漂白剤・ソフト仕上剤 → P9

(上ぶたが開いていると洗い運転は始まりません)

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉め、糸くずフィルターを掃除してください。

お知らせ

- 「ソフト」コースは、洗濯時間の短縮と洗濯液を衣類に吸収させるために少ない水量から「洗い」「すすぎ」が始まります。
- 洗剤は、入れすぎないようにしてください。泡が立ちすぎたり、すすぎが不十分になります。
- 運転終了後は、衣類のシワ付きや色移りを防ぐため、すぐに干しましょう。

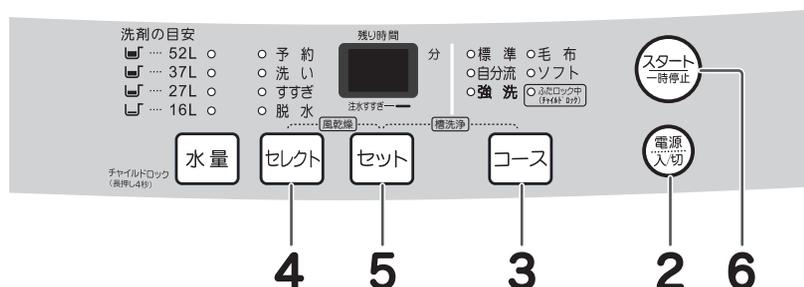
自分流の運転内容を記憶させる

本ページのイラストはJW60WP01で説明しています。

自分流コース

自分のお好みの運転内容を、記憶させることができます。
次からは「自分流」を選ぶと前回に設定した運転内容で運転することができます。

- 「水量」「予約」は記憶しません。



洗濯できる量	JW60WP01 6.0 kg 以下
	JW70WP01 7.0 kg 以下

◆購入時の設定

洗い	: 10分
すすぎ	: シャワーすすぎ 1回 + ためすすぎ 1回
脱水	: 5分



お知らせ

- スタートして 30 秒後に前回の内容は消え、新しい内容を記憶します。
- 停電時や電源プラグをコンセントから抜いた場合も記憶しています。
- 洗濯時間の短縮と洗濯液を衣類に吸収させるために少ない水量から「洗い」が始まります。
- 布量検知により、所要時間表示が変わることがあります。

1 水栓を開け、洗濯物を入れる

2 電源を入れる

3 「自分流」を選ぶ

- 記憶内容を表示します。変更がなければ 6 へ

4 変えたい行程を選ぶ

5 お好みの時間やすすぎ回数・方法を設定する

6 スタートする

- 水なしで運転し、水量を表示。(布量の検知 →P11)

7 給水が始まってから洗剤を入れ、上ぶたを閉める

- 洗剤の溶け残り防止のため、洗濯・脱水槽内に均等に入れてください。
- 漂白剤・ソフト仕上剤 →P9

(上ぶたが開いていると洗い運転は始まりません)

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉め、糸くずフィルターを掃除してください。

毛布などの大物の洗濯

毛布コース

必ず、市販の大物洗い用洗濯ネットをご使用ください。
ネットに入れずに洗濯すると、洗濯物が洗濯・脱水槽からはみ出し、擦れて洗濯物や本体を傷めたり、水が飛び散る恐れがあります。

洗える毛布

取り扱い絵表示が  の

- アクリルまたはポリエステル 100%のマイヤー・タフト毛布 シングルサイズ以下 140cm×200cm 以下 質量 3.0kg 以下
- 綿毛布 シングルサイズ以下 140cm×200cm 以下 質量 1.5kg 以下 (3枚まで)

●電気毛布・純毛の毛布は洗わないでください。
洗える電気毛布は、その説明書に従ってください。

洗えるふとん

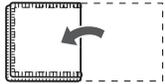
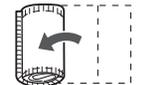
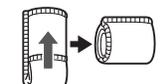
取り扱い絵表示が  の

- 中わたがポリエステル 100%の夏掛けふとん 大きさ 140cm×190cm 以下 中わた質量 0.7kg 以下 総質量 1.4kg 以下
- 洗濯機で洗えると記載されている羽毛掛けふとん 大きさ 150cm×210cm 以下 総質量 1.8kg 以下

洗濯できる量 (kg 以下)	
毛布	3.0 kg 以下
綿毛布	4.5 kg 以下
夏掛けふとん	1.4 kg 以下
羽毛掛けふとん	1.8 kg 以下

洗濯前の準備

- ゴミや糸くずは、取り除いておきます。
- 綿毛布を2枚以上入れる場合は、重ねて折りたたんでください。

- 1 長い方を2つ折りにする 
- 2 同じ方向に3つ折りにする 
- 3 巻く 
- 4 フチのある方を下に洗濯ネットに入れ、ひもを固く結んでリボン結びにする 
リボン部分はネットと毛布の間にはさみ込む

お知らせ

- 水量は、JW60WP01 の場合は 52L に JW70WP01 の場合は 55L に自動設定されます。37L にのみ、変更することができます。
- 洗剤は、入れすぎないようにしてください。入れすぎると溶けずに残ることがあります。
- 夏掛けふとん・羽毛掛けふとんは、水に浮かないようにしてください。

洗濯が終わったら

取り出すときは
洗濯ネットのひもをほどき、毛布などの中心部を持って引き出す

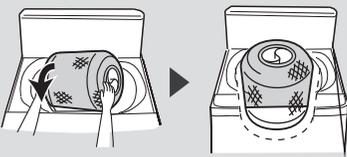


乾燥は

風通しのよい日陰で自然乾燥、または毛布乾燥機能のある衣類乾燥機で乾燥する

- 毛布は生乾きのうちにブラッシングするときれいに仕上がります。
- 掛けふとん・綿毛布の乾燥は、その取り扱い表示に従ってください。



- 1  水栓を開け、洗濯物を入れる
- 2  「毛布」を選ぶ
- 3  洗剤を入れる
溶け残しをなくすため、約 30℃のぬるま湯(約 5L)に入れ、よく溶かしてください。溶かさずに入れると、白く残ることがあります。
●漂白剤・ソフト仕上剤 →P9
- 4  洗濯ネットに入れた毛布などを入れ、上ぶたを閉める

洗濯ネットの口側が上になるように横向きにして、洗濯・脱水槽内で縦向きにすると入れやすくなります。
- 5  スタートする
(上ぶたが開いていると洗い運転は始まりません)

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉め、糸くずフィルターを掃除してください。

風乾燥をする

本ページのイラストはJW60WP01で説明しています。

風乾燥コース

ヒーターを使わず高速回転で大量の風をとり込み、衣類の水分をとばす省エネ方式です。衣類をほぐすために定期的にかくはん運転をします。

風乾燥できるもの

- 化繊(1.5kg以下)の衣類の乾燥
洗い～風乾燥まで自動運転でき、約3時間でほぼ乾燥できます。
※風乾燥のため、乾いていても衣類が冷たいので乾いていないように感じる場合があります。

(例)



トレーニングウェア



ワイシャツ



作業服

- 部屋干し時間を短縮したいとき

風乾燥できないもの

- 取り扱い絵表示が、下記の衣類

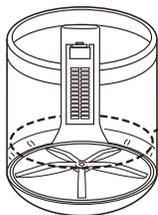


- 色落ちしやすい衣類
- ウールの衣類
- シワが気になる衣類 (綿100%シャツなど)
- 型くずれしやすい衣類 (肩パット入りなど)
- 防水性のマット・シートや衣類など →3ページ
- 毛布・掛けふとん・シーツ

洗濯できる量 **化繊 1.5kg以下**

1.5kgの目安

脱水後の湿った衣類を軽く押さえて入れた状態



糸くずフィルターの下あたり

運転時間：3時間（固定）

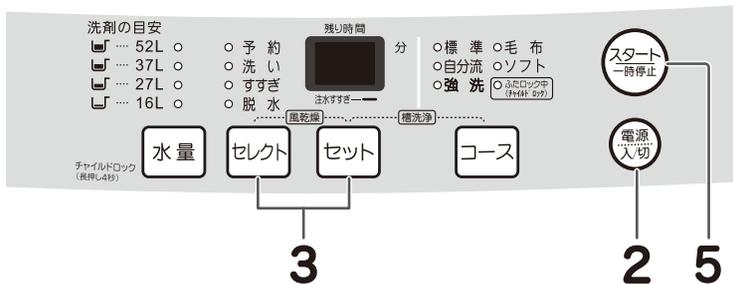
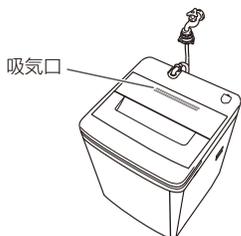


お知らせ

- 衣類の量・種類、気温、湿度、設置環境により仕上がりが具合が変わります。乾きムラや乾燥不足のときは、再度その程度に応じて運転してください。
- 衣類の入れすぎは、乾燥不足や、シワ、衣類の飛び出しによる破れの原因となります。

お願い

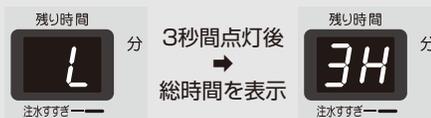
- 吸気口（風乾燥用）の上に物を置かないでください。
- 定期的に吸気口をお手入れしてください。目詰まりすると「風乾燥」の性能が出なくなります。
- 色移りしやすい衣類は、一緒に洗濯しないでください。



1 水栓を開け、洗濯物を入れる

2 **電源入切** 電源を入れる

3 **セレクト** と **セット** を同時に押す



4 上ぶたを閉める

5 **スタート一時停止** スタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉め、糸くずフィルターを掃除してください。

予約運転をする

運転の終了時間を予約できます。

予約待機中の 運転内容の確認	スタート1分以降に 「セット」を押す
予約の取り消し	電源を切る
予約の変更	一度電源を切って 設定し直す

お願い

- 水栓からの水もれがないか確認してください。
- 衣類のシワ付き防止のため、運転終了後、すぐに干してください。
- 色移りしやすい衣類は、一緒に洗濯しないでください。

粉石けん

固まる場合があるので、使わないでください。

ソフト仕上剤

予約時は長時間放置するため、衣類の上にこぼした場合は、水洗いしてください。
落ちないときは、洗剤をつけてもみ洗いしてください。
(シミ・色落ち・傷みの原因)

漂白剤

酸素系をお使いください。塩素系は、変色や損傷の原因になるため、使わないでください。



お知らせ

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電した場合、予約は取り消されます。
- 終了時間は、水道水圧、排水条件などにより変わります。

予約時の洗剤の 入れかた

液体洗剤

「液体洗剤・漂白剤注入口」に入れる
溶けやすくするため、洗剤と同量の
水でうすめる



粉末合成洗剤

コンパクトタイプ

「洗剤投入トレイ」を
開け、平らに入れる

- トレイがぬれていると洗剤がこびりつくので、あらかじめ乾いた布でふいてください。
- トレイの奥のすみには洗剤を入れないでください。洗剤が残ることがあります。
- 洗剤を入れた後、トレイは閉めないでください。(洗剤がこぼれます)

コンパクト タイプ以外

洗濯物に触れないように
白物のハンカチなどに軽く
包み、洗濯・脱水槽の周辺部
に押し込む

(洗剤に含まれている蛍光剤
による衣類の変色を防ぐた
めです)

4隅をつまむ



1 水栓を開け、洗濯物を入れる

- 「毛布」コースでは、洗剤・洗濯物の入れ方が異なります。→P14

2 電源を入れる

3 コース 使用するコースを選ぶ

4 セレクト 「予約」を選ぶ

5 セット 今から何時間後に 終了させたいか時間を選ぶ

- 最長24時間後までを1時間単位で予約できます。



6 スタート 一時停止 スタートする

7 水量が表示されてから 洗剤を入れ、上ぶたを閉める

- 漂白剤・ソフト仕上剤 →P9
- 約1分後、予約ランプ以外が消灯します。
(上ぶたが開いていると洗い運転は始まりません)

ブザーが鳴ったら、運転終了

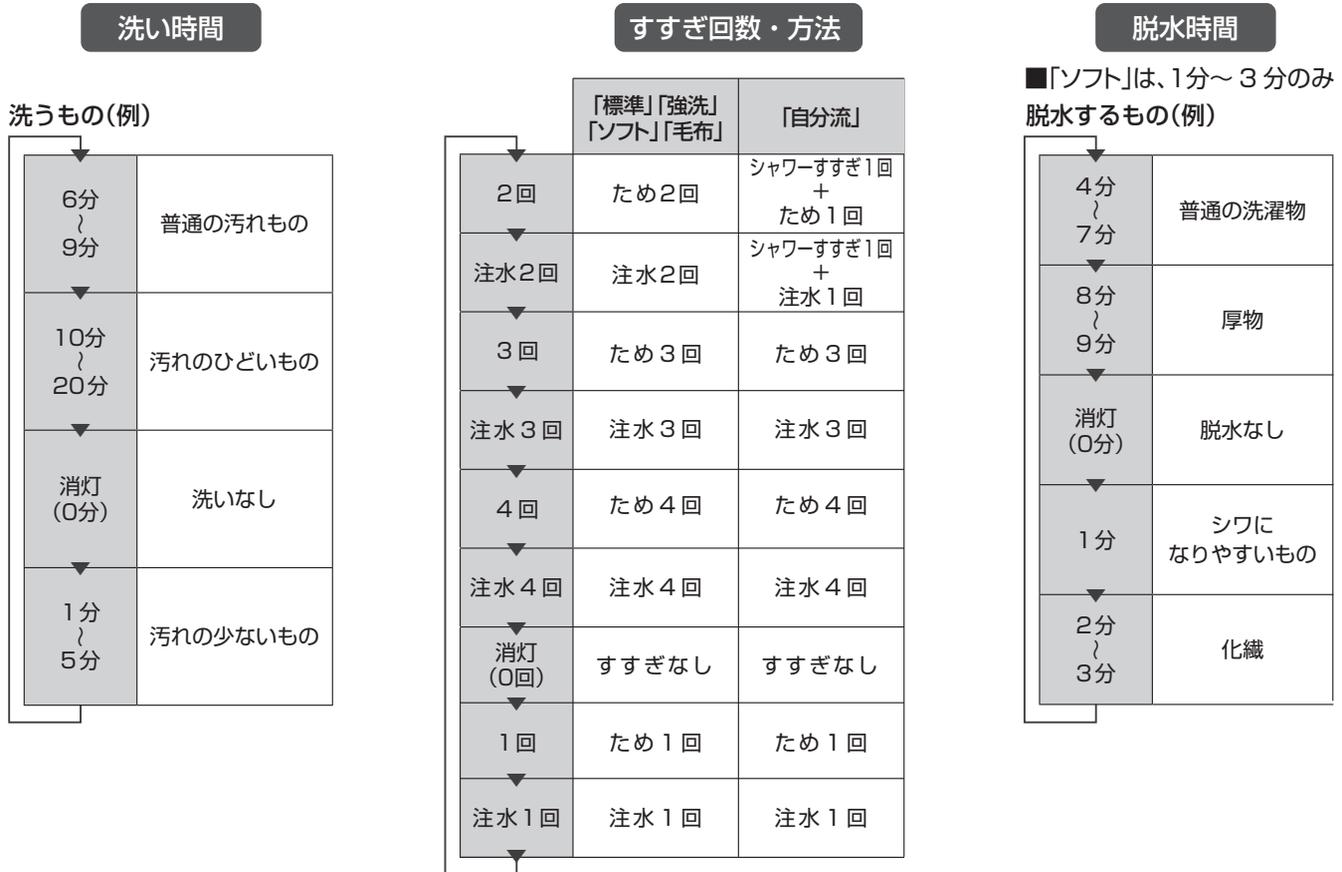
- 水栓を閉め、糸くずフィルターを掃除してください。

運転内容をお好みで変更する

各コースの時間やすすぎ回数・方法などの運転内容を変更したり、「洗い」「すすぎ」「脱水」の行程を組み合わせた運転内容を設定することができます。
ただし「自分流」コース以外のコースでは、変更した内容は記憶しません。

洗い・すすぎ・脱水の内容変更

- コースによって変更できる内容が異なります。



洗い・すすぎ・脱水の組み合わせ

- コースによって設定方法が異なります。

コース	設定方法
標準・強洗	<input type="button" value="セレクト"/> を押して運転する行程を選び、 <input type="button" value="セット"/> を設定したい内容になるまで繰り返し押す
毛布・自分流・ソフト	<input type="button" value="セレクト"/> を押して運転しない行程を選び、 <input type="button" value="セット"/> を「消灯」になるまで繰り返し押す

〔設定例〕

1. 「毛布コース」で「洗い→脱水」の運転をしたいとき

「毛布」を選ぶ → で「すすぎ」を選ぶ → を「消灯(0回)」になるまで押す

2. 「標準コース」で「脱水1分」の運転をしたいとき

「標準」を選ぶ → で「脱水」を選ぶ → を「時間1分」になるまで押す

こんなときは

凍結の恐れがある

防止方法

その1 凍結防止（残水排水）を設定する

残っている水を運転が終了してから9分後に、自動で排水します。
設定すると運転終了後10分間 **Ud** を表示します。

電源を入れ、**セット** を3秒以上押し続ける

- 「ピー」と鳴り、設定完了

解除

- 上記と同じように操作する
- 「ピピッ」と鳴り、解除完了

その2 給水ホース・排水ホースの水を抜く

1 水栓を閉め、電源を入れる

2 **コース** で「毛布」を選ぶ

3 **スタート一時停止** を押し、約30秒後に電源を切る

- 給水ホース内の水を抜き、水圧を下げるためです。

4 給水ホースの水栓側を外し、バケツなどでホースから出る水を受ける

5 電源を入れ、**コース** で「標準」を選び、「脱水のみ」を約1分間運転し、残水を排水する



凍結したとき…

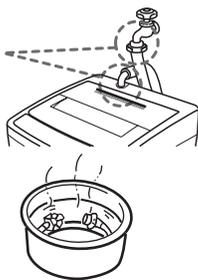
1 接続部を熱い蒸しタオルで包む

2 水栓を閉め、給水ホースを外し、お湯（50℃未満）につける

3 約2Lのお湯（50℃未満）を洗濯・脱水槽に入れ、約10分間放置する

4 給水ホースをつないで水栓を開け、次の内容を確認する

- 手でバルセーターが回せるか
- 運転して給水・排水するか



洗濯液を2度使いたい

下記手順とお好み設定 → P17をご覧ください。

1度目は汚れの少ないもので、汚れのひどいものは2度目に洗いましょう。

1 1度目の洗濯物を入れ、お好みのコースで「洗いのみ」運転をする



2 洗濯物を取り出し、2度目の洗濯物を入れる

- 必要に応じて洗剤を追加します。



3 お好みのコースと水量を設定し、「洗い→すすぎ→脱水」をする

4 2度目の洗濯物を取り出し、1度目の洗濯物を戻す

- 洗濯物は均等に入れてください。



5 お好みのコースと水量を設定し、「すすぎ→脱水」運転をする

終了ブザー音を消したい

運転開始時に **スタート一時停止** を約4秒間押し続ける

- 「ピー」と鳴り、設定が完了すると、運転が終了しても終了ブザーが鳴りません。

運転途中で変更したい

- 水量は、すすぎ終了まで変更できます。
- 「洗い」ランプが点滅中は、**セレクト** を押しと注水すすぎ・ためすすぎの切り換えができます。

その他の変更は、電源を切り、再び「入」にしてから設定し直してください。

お手入れ

必要に応じて

本体

水滴・糸くず・汚れがついたら…

水、またはぬるま湯で湿らせたやわらかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤か石けん水をお使いください。



- 住宅用合成洗剤(マジックリンなど)・クレンザー・ベンジン・シンナーなどで拭かないでください。プラスチック部品を傷めます。
- 化学ぞうきんは、その注意書に従ってください。

- 洗濯・脱水槽の上部、上ぶた湿らせたやわらかい布で拭いてください。



必要に応じて

給水口

水の出が悪くなったら…

ご注意 井戸水などは不純物が多くゴミがたまりやすいため、早めにお手入れをしてください。

- 1 **電源入/切** 水栓を閉め、電源を入れる
- 2 **コース** 「毛布」を選ぶ
- 3 **スタート/一時停止** スタートする ホース内の水圧を下げて水の飛び散りを防ぐため
- 4 約 30 秒後に、**電源入/切** 電源を切る
- 5 袋ナットをゆるめて外し、給水口内のゴミを歯ブラシなどで取り除く



毎回

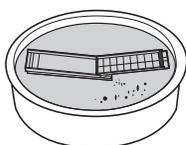
糸くずフィルター

目詰まりするとゴミが取れにくくなります。

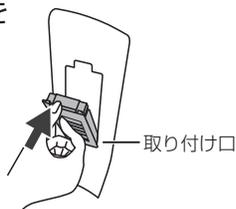
- 1 上部にあるつまみを下に押さえながら、上側を手前に引いてはずす



- 2 糸くずフィルターを開け、ゴミを取り除いてから水中で洗い、閉める



- 3 糸くずフィルターの下部を槽内の取り付け口に差し込んでから全体を押し込む



お知らせ

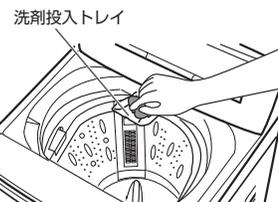
- 糸くずフィルターは、必ず取り付けて洗濯してください。(衣類が傷む恐れ)
- 消耗品のため、破損したときは、お買い上げの販売店でお買い求めください。

必要に応じて

洗剤投入トレイ

柔らかい布でふき取る

- こびりつきがひどいときは、ホースで水をかけながらふき取ってください。

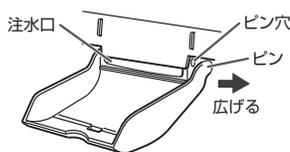
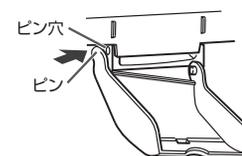


ご注意

トレイを手前に倒した状態で無理な力を加えないでください。(外れる恐れ)

外れたとき

- 1 洗剤投入トレイの左側のピンを注水口のピン穴に差し込む
- 2 右側のピン部を広げながら、ピンをピン穴に差し込む



お願い

トレイを使用しないときは、必ず閉めた状態にしてください。

お手入れ

必要に応じて

洗濯・脱水槽

石けんカス

長期間の使用で、石けんカス（黒いもやもやとしたもの）が発生し、洗濯物に付くことがあります。洗剤の入れすぎや溶かし不足の状態では洗濯を繰り返すと石けんカスを発生させ衣類を汚す原因になります。

- 湿気の多い場所では上ぶたを開け、できるだけ内部の水分を蒸発させて石けんカスのカビなどを防ぎましょう。

さび

赤さびの混じった水やヘアピンなど、さびやすいものを入れたり、長時間水を入れたまま放置するとさびの原因になります。

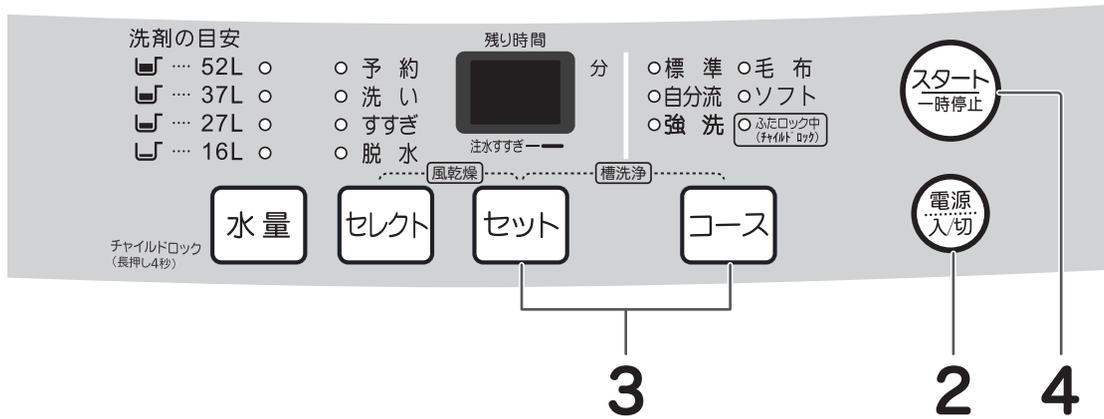
さびがみついたら

やわらかい布かスポンジに、市販のクリームクレンザーをつけてさびをふき取ってください。

- 金属たわしなどは、洗濯・脱水槽を傷めるので使わないでください。

槽洗浄コース

市販の洗濯槽クリーナーを使用する例です。洗濯物はいれないでください。



所要時間 約1時間45分

運転前後に行うこと

運転前

- 刺激臭がします。換気を十分にしてください。
- 洗濯槽クリーナーの説明書をよくお読みください。
- 糸くずフィルターを掃除してください。
- ゴム手袋をして肌を保護してください。

運転前

浮き出た石けんカスは拭き取ってください。



お知らせ

- 水量の切り換え・お好みの設定・予約運転・風乾燥はできません。
- 水量は、JW60WP01の場合は52Lに JW70WP01の場合は55Lに自動設定されます。37Lにのみ、変更することができます。

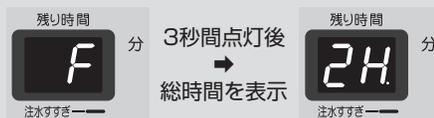
ご注意

24時間以上、洗浄液を入れたまま放置しないでください。故障の原因となります。

1 水栓を開ける

2 電源を入れる

3 セット と コース を同時に押す



4 上ぶたを開け、スタートする

5 「ピピッ」と鳴り、給水が止まったら、洗濯槽クリーナー(1.5L)を入れ、上ぶたを閉める

洗濯槽クリーナーを混ぜるために数分かくはんし、その後、「約1時間25分」つけおき洗いをします。(上ぶたが開いていると洗い運転は始まりません)

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉め、糸くずフィルターを掃除してください。

据え付け

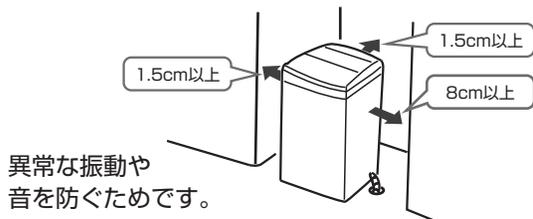
- 据え付け前に、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 据え付け後は、必ず試運転をしてください。

本体の設置

警告

浴室や風雨にさらされる場所、
 湿気が多い場所には据え付けない
 (感電・火災・故障・変形の原因)

本体は排水ホース側が壁から 8cm 以上、
反対側および裏側は壁から 1.5cm 以上離す



しっかりした水平な床に据え付ける

傾斜した床や弱い床、不安定な台の上は
振動や騒音が大きくなります。

洗濯機トレーの使用をおすすめします

気温と水温の差が大きいと本体の内側に
結露（露つき）が生じます。
この結露や万一の水はねで
床面をぬらすことを防止
するためです。



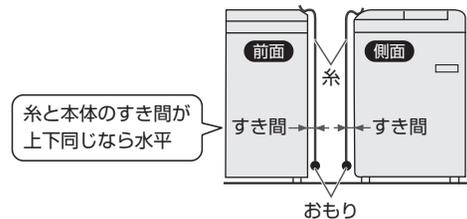
■次のような場所には、設置しないでください。

- 直射日光のあたる場所
(プラスチック部品の変色や変形の原因となります)
- 冬期に凍結の恐れのある場所
- 平らでない床・弱い床・凸凹な床の上振動や騒音が大きくなります。床が弱いときはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 高い置台の上
(底部と床の間隙から、お子さまなどが手を入れ、けがをする原因となります)
- 包装用台座は、据え付け台として使わない
(本体故障の原因となります)

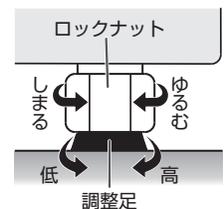
水平の確認と調整

1 水準器で水平度を確認する

- 水準器がない場合は、おもり(5円玉など)を付けた糸を図のように下げ、前面と側面の水平度を確認してください。



2 水平でないときは、前面右足のロックナットをゆるめ、調整足を回して調整する



3 調整後、ロックナットを回して、しっかり締め付ける

4 本体の対角(右前と左後、または左前と右後)を押さえて、ガタつきがないか確認する



お知らせ

水平に設置できていないと本体の移動・異常振動・騒音・故障の原因となります。必ず調整足で水平になるよう調整してください。

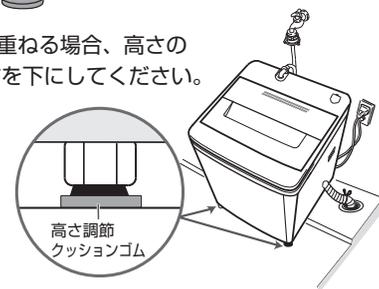
傾斜した床面・凹凸のある床面に設置する場合

高さ調節ゴムをお買い求めのうえ、水平になるよう調整してください。



2個セットになっています。
切り離してご使用ください。
1枚で5mm、2枚を重ねて
1cmの高さ調整ができます。

2枚を重ねる場合、高さの低い方を下にしてください。



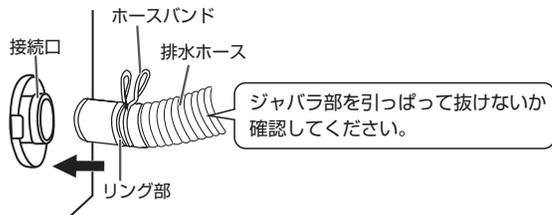
据え付け

排水ホースの取り付け

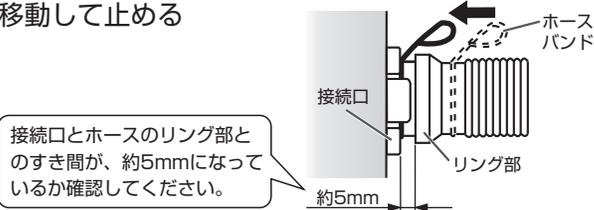
ご注意 排水ホースは正しく取り付けないと、使用中に抜けて、水もれの原因になります。

1 ホースを接続口に「コツン」と当たるまで差し込む

お願い 排水ホースの抜け防止用の凸部が接続口にあるので強く押し込んでください。

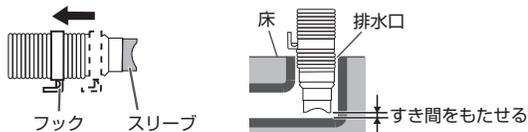


2 ホースバンドをリング部より本体側いっぱい移動して止める



3 フックをずらし、排水口に差し込む

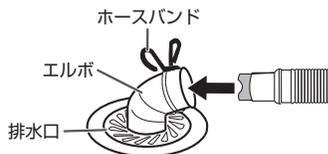
- スリーブは、ホース先端がふさがれて排水が悪くならないようにすき間をもたせるものです。必ず取り付けてご使用ください。



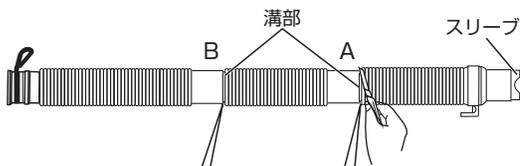
排水時の水の力や振動などで動く場合があるため、排水口にしっかり差し込み、抜け出さないように固定してください。

排水口がエルボの場合

排水ホース先端部をエルボにしっかり差し込み、ホースバンドで確実に固定する。



排水ホースが長すぎる場合

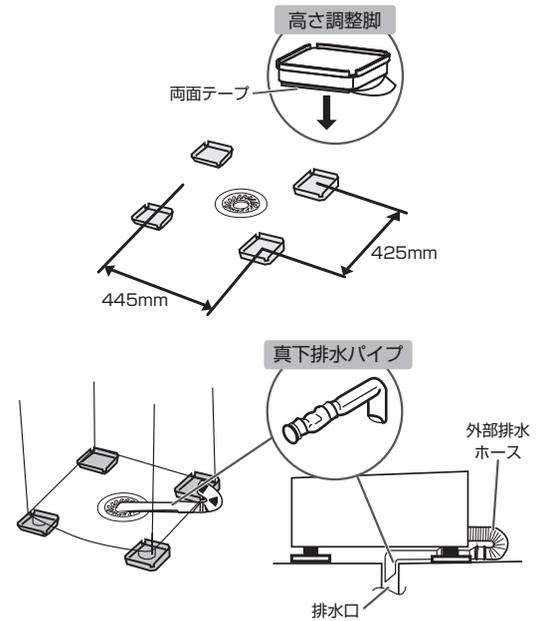


本体と排水口の距離に応じて、溝部2ヶ所A・Bのうち、どちらかの溝部を切って先端にスリーブをはめ直してください。

排水口が本体の下になる場合

真下排水パイプと高さ調整脚をお買い求めください。

- 高さ調整脚の両面テープのシールをはがし、床面、または防水パンに固定してください。
- 接着する面の水・ほこりなどはきれいにふき取ってください。



- 取り付け方法は、真下排水パイプの説明書に従ってください。

ご注意

- 必ず高さ調整脚を敷いてください。洗濯機が真下排水パイプに乗り上げて異常振動したり、破れて水もれする恐れがあります。
- 内部排水ホースは直接排水口に入れないでください。(ホースの破れ・水もれ・異常音の原因)



排水ホースの付け換え

排水ホースは、左側に付け換えることができます。

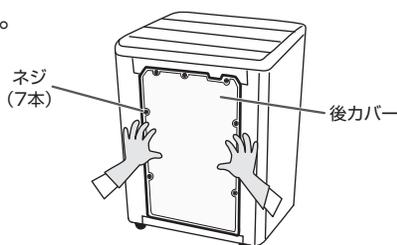
⚠ 警告

! けがを防ぐために、付け換え作業は必ず手袋をしてください。

水漏れの危険性がある為、十分に注意して付け替えてください

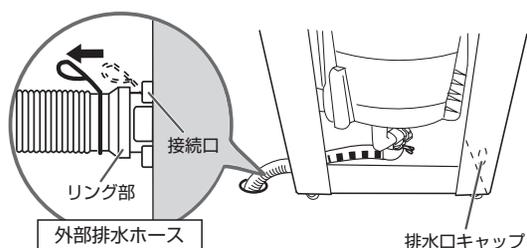
1 後カバーを外す

- ①後カバーの取り付けネジ(7本)を外す。
- ②下部のツメを外して、後カバーを上へ持ち上げて外す。

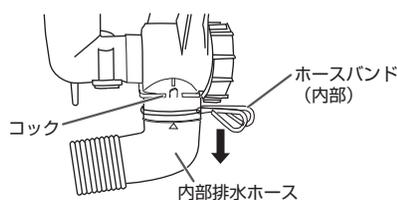


2 本体左側の排水口キャップと外部排水ホースを外す

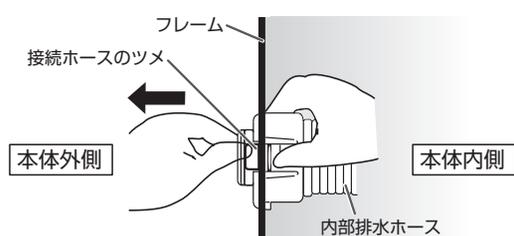
- 外部排水ホースは、ホースバンドをリング部の方向にずらしてから外す。



3 内部のホースバンドをずらし、コックから内部排水ホースを引き抜く ホースバンドを内部排水ホースから抜き取る



4 接続ホースのツメ上部を強くつまみ、内部排水ホースをフレームの外側に抜き出す



ご注意

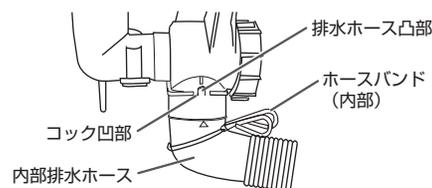
- 電源プラグをコンセントから抜き、付け換え作業を確実に行ってください。正しく取り付けないと、水もれの原因になります。
- 付属の新しいホースを使用して下さい。古いホースは水もれにつながるおそれがありますので使用しないでください。

5 本体左側の穴に外側から内部排水ホースを通す

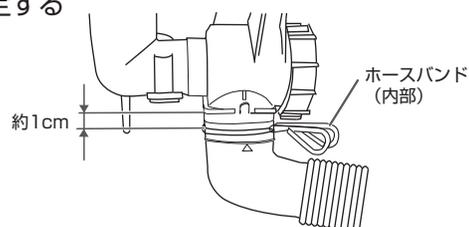
6 接続口の凸部をフレームの角穴に合わせて、接続口のツメをフレームに確実にはめ込む



7 ホースバンドを内部排水ホースに通し、コック凹部(合せ印切り込み部)と内部排水ホース凸部(合せ印・A)が合うように内部排水ホースを差し込む



8 ホースバンドを図の位置に確実に合わせ、固定する



9 排水口キャップを本体右側に取り付ける

10 後カバーを取り付ける

- ①下側を本体の溝にはめてから、後カバーのネジ穴の位置を合わせる。
- ②ネジ(7本)を取り付ける。

11 接続口に排水ホースを取り付ける ➡P22

- 正しく取り付けないと排水ホースが抜け、水もれの原因になります。

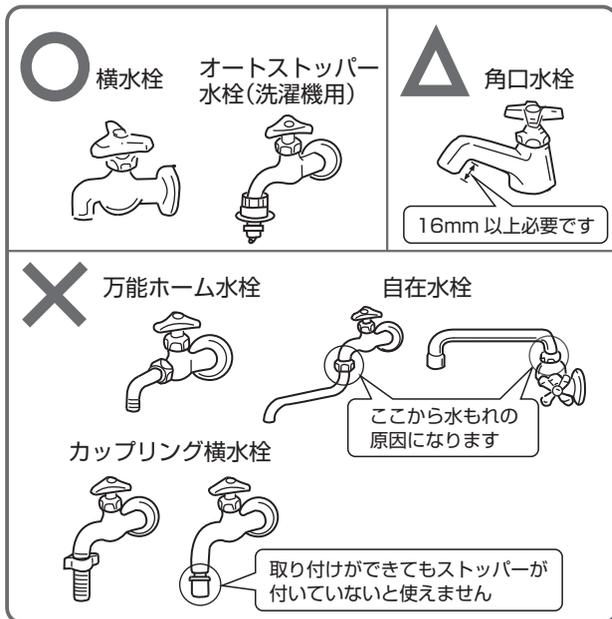
据え付け

マジックつぎ手と給水ホースの取り付け

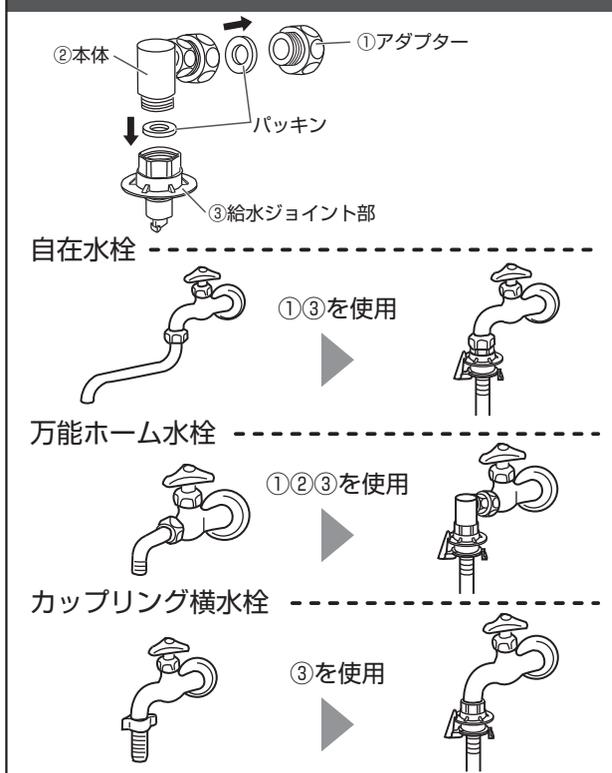
- マジックつぎ手・給水ホースは、付属品または当社専用のものを使用してください。
確実に取り付けないと、水もれの原因になります。
- 給水ホースを接続後、水栓を開き、マジックつぎ手や給水口より水もれがないか確認してください。

水栓の形状を確認する

水栓が合わないときは、お買い上げの販売店、水道工事店にご相談ください。



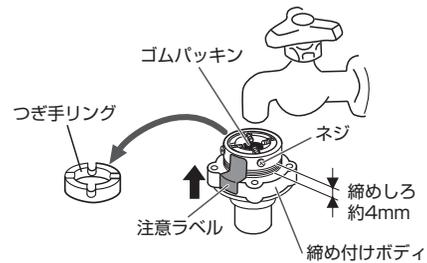
給水栓ジョイントをご使用ください。



※給水栓ジョイント・分岐水栓は、蛇口の形態により取り付けできないものがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

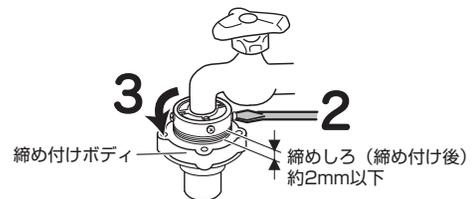
マジックつぎ手を取り付ける

- 1 ネジ(4本)をゆるめ、マジックつぎ手のゴムパッキンと水栓の先端を垂直に押し当てる
 - 水栓の径が大きいときは、つぎ手リングをはずしてください。
 - 注意ラベルは、締め付けボディをゆるめた状態で貼ってあります。水栓にマジックつぎ手をネジで締め付けるまでは、はがさないでください。



- 2 水栓の先端がマジックつぎ手の中心になるようにネジを均等にしっかり締め付ける
 - 壁側になるネジは前もって調整しておく便利です。

- 3 注意ラベルをはがし、締め付けボディを矢印方向へ回して、締めしろが約2mm以下になるまで強く締め付ける
 - 強く締め付けないと水もれする恐れがあります。



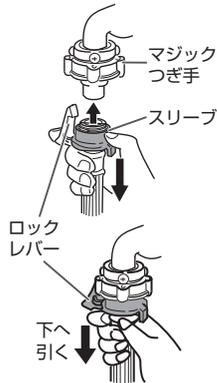
ご注意

- 取り付けかた・転居の際の取り換え・長期間の使用でゆるみが生じたなどで、水もれする場合
⇒ 1 図のように締めしろを約4mmにゆるめてから、取り付け直してください。
- パッキンに蛇口の形が付いていたり、劣化している場合
⇒ マジックつぎ手を取り換えてください。
転居や取り付け直したときは、特にご注意ください。
- 今までお使いのマジックつぎ手があっても、必ず新品と取り換えてください。

給水ホースを取り付ける

水栓側

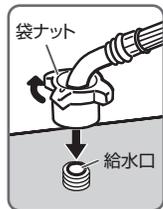
- 1 スリーブを引き下げたままでマジックつぎ手に差し込む
- 2 スリーブをはなし、「パチン」と音がするまで差し込む
- 3 ロックレバーがかかっているのを確認した後、ホースを下へ引き、完全に取り付けができていないか確認する



ロックレバーと本体が接触しない位置で取り付けてください。
(水もれの恐れ)

本体側

袋ナットを給水口に押し当て、傾きのないように確実に締め付ける

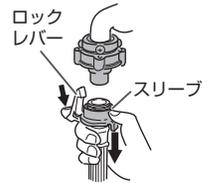


ご注意

転居などで取り付け直したときは、特にご注意ください。
確実に締め付けてください。

給水ホースを外すとき

- 1 水栓を閉め、電源を入れ **コース** で「毛布」を選ぶ
- 2 **スタート一時停止** スタートする
 - ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。
- 3 約 30 秒後に、**電源入切** 電源を切る
- 4 **水栓側** ロックレバーを押し、スリーブを引き下げてホースを外し、バケツなどでホースから出る水を受ける



本体側

袋ナットをゆるめて外す



給水ホースの延長

お買い上げの販売店にご相談のうえ、延長用給水ホースをお買い求めください。

アース (アース工事は有料です)

警告

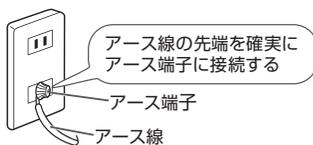


万一の感電防止のため、アース線を必ず確実に取り付ける

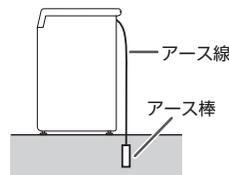
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
また、漏電ブレーカーの取り付けをおすすめします。
(詳しくはお買い上げの販売店、または電気工事店にご相談ください)

- アースの付け外しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 設置場所の変更や転居の際にも、必ずアースを取り付けてください。

コンセントにアース端子がある場合



コンセントにアース端子がない場合



法令により電気工事士によるD種接地工事が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

お願い

ガス管、電話線や避雷針、水道管には接続しないでください。
(法令などで禁止されています)

試運転

次の手順で試運転をして水もれ、給水・排水の不具合、異常音や異常振動がないことを確認してください。

- 1 水栓を開け、**電源入切** 電源を切る
- 2 **コース** 「毛布」を選ぶ
- 3 **セレクト** 「すすぎ」を選び、
セット 「消灯(0回)」を設定する
- 4 上ぶたを閉め、**スタート一時停止** スタートする
 - 洗いの間に、水もれがないことを確認する
 - 脱水の間に、異常音や異常振動がないことを確認する
- 5 運転が終了すれば、水栓を閉める

故障かな？と思ったら

下記の症状は故障ではありません。

	症 状	原 因
本 体	運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでいますか。 ●電源が入っていますか。 ●「スタート/一時停止」を押しましたか。 ●予約中ではないですか。 ●上ぶたが閉まっていますか。 ●水栓が開いていますか。 ●停電していませんか。 ●ご家庭のヒューズ・ブレーカーが切れていませんか。
	運転中や電源スイッチを切っても操作パネル部が熱を持っている	<ul style="list-style-type: none"> ●部品の放熱作用によるものです。
洗 い ・ す ず ぎ	給水前にパルセーターが回転する	<ul style="list-style-type: none"> ●洗濯量を検知しているためです。布量の検知 → P11
	途中で給水する	<ul style="list-style-type: none"> ●水量や洗濯物の状態を検知し、うまく洗濯できるように補給水機能がはたらいたためです。 <ul style="list-style-type: none"> ・洗濯物を後から追加した。 ・水量が減り、それを自動的に補う機能がはたらいた。 ・洗濯物の布回りをよくする機能がはたらいた。
	注水すぎなのに排水ホースから水が流れ出ていない	<ul style="list-style-type: none"> ●水圧が低いときや設定水量が低いときは、排水しないことがあります。
	注水すぎなのにためすぎになる	<ul style="list-style-type: none"> ●給水量が多い場合は、洗濯・脱水槽からあふれるのを防ぐため、ためすぎになります。
	すすぎからスタートすると水が給水されない	<ul style="list-style-type: none"> ●排水→脱水してから、すすぎの給水を始めます。
脱 水	洗い後の脱水途中でためすぎが追加される(給水する)	<ul style="list-style-type: none"> ●洗剤量が多すぎたり、排水ホースの途中が高くなるなど排水状態が悪く、うまく脱水できない(脱水の回転が上がらない)ときは、ためすぎを追加します。
	始めから高速で脱水しない	<ul style="list-style-type: none"> ●脱水を効果的に行うために、徐々に回転を上げる運転をします。
	脱水の途中でためすぎになる(給水する)	<ul style="list-style-type: none"> ●洗濯物が片寄ると、片寄りを修正するためにすすぎを行い、再度脱水をします。
風 乾 燥	乾きが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ●衣類の種類・量・室温・湿度などにより乾燥状態が変わります。 ●3時間固定のため、乾きに関係なく終了します。乾き不足時は、追加乾燥してください。→ P15 ●化繊の衣類を 1.5kg 以下にしてください。少なめにすると、風乾燥の効果が上がります。 ●脱水が不十分な衣類や化繊以外の衣類が混ざっていませんか。
	運転が終了しても乾いていない	
水 量	洗濯物の量に対する水量の表示がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ●水量は、洗濯量で決まります。化繊など軽いものが多いときに少なかったり、洗濯物が最初からぬれていると多く表示することがありますが、故障ではありません。布量の検知 → P11
	同じ量を洗っているのに水量表示が違うことがある	

症 状

原 因

時 間

すすぐ前の排水・脱水時間が長い

● 泡立ちをおさえ、すすぎ性能を良くするため、すすぎ前の排水・脱水を長くしています。

洗濯時間が長い

● 所要時間は、給水量毎分 15L で計算しています。15L 以下であれば、長くなります。
● あらかじめ水が入っているときや水量をお好みで設定したときは、所要時間が変わる場合があります。

残時間表示が途中で変わる

● 所要時間は、水道水圧・排水・脱水状態により変わることがあります。

音

運転終了後に「ジー」と音がする

● 凍結防止(残水排水)を設定していませんか。排水バルブの作動音です。→P18

洗濯・脱水槽をゆらすと「シャー」「チャプチャプ」と音がする

● 脱水の振動を抑えるために洗濯・脱水槽の上部に入れてある液体の音です。

臭 い

異臭がする

● 排水口にたまった汚れの臭いが逆流することがあります。集合住宅などで排水口に臭気防止用トラップがない場合は、本体・洗濯物に臭いがつくことがあります。

処置

- 定期的に排水口を掃除してください。
- 臭気防止用トラップがない場合は、トラップを設置してください。

● 洗濯・脱水槽内に付着している石けんカス・黒カビなどで臭いが発生する場合があります。

処置

洗濯槽クリーナーで洗濯・脱水槽の洗浄をしてください。
普段使わないときは、上ぶたを開放し風通しをよくしてください。

そ の 他

据え付け時や初めて使用するとき排水ホース接続口から水が出る

● 工場での性能テスト時の残水で故障や不良ではありません。

衣類が黄変する

● 水道水のサビ、粉石けんや洗剤の残り、色移りなどにより、乾燥後に黄変することがあります。
塩素系漂白剤・還元型漂白剤をご使用ください。

糸くずの付着が気になる

- すすぎ回数を増やしたり、注水すすぎをおすすめします。
- 水量を多めに設定してください。
- 糸くずフィルターを掃除してください。

洗濯の途中なのに運転が止まってしまった

- 上ぶたが閉まっていますか。
- 脱水時に洗濯・脱水槽の中で洗濯物が片寄っていませんか。
- お好み設定方法を間違えていませんか。
- 洗濯槽洗浄中ではありませんか。

以上の原因でないときは、こんな表示がでたら →P28 をご確認のうえ、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんな表示がでたら

表 示	調べるところ	処 置
E1 給水しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 水栓が開いていますか。 ● 給水口の網にゴミなどが詰まっていませんか。→P19 ● 凍結していませんか。→P18 ● 断水していませんか。 ● 井戸水を使っていませんか。 	<p>一時停止する</p> <p>点検・確認</p> <p>再スタートする</p>
E2 排水しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 排水ホースの確認 →P22 <ul style="list-style-type: none"> ・ 倒し忘れたり、つぶれていませんか。 ・ 途中15cm以上、高くなっていませんか。 ・ 排水口がふさがれていませんか。 ● 排水口(フィルターやトラップ部)に糸くずが詰まっていませんか。 	
E3 脱水しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 洗濯物が片寄っていませんか。 ● 本体が傾いたり、ガタついていませんか。→P21 	
E4 運転しない (一時停止している)	<ul style="list-style-type: none"> ● 上ぶたが開いていませんか。 	<p>上ぶたを閉める</p>
Ud 運転後表示する	<ul style="list-style-type: none"> ● 凍結防止(残水排水)設定をしていませんか。→P18 	
EA	<p>制御部品の点検や修理に調整が必要です。</p> <p>電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉めて早めにお買い上げの販売店に連絡し、点検・修理を依頼してください。</p>	
EC		

保証とアフターサービス

●保証書(別途添付しております)

保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。なお、食品の補償など、製品修理以外の責は容赦ください。

●保証期間

保証期間はお買い上げ日から1年です。

●修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」取扱説明書にそってお調べください。それでも異常があるときは、直ちにご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼してください。

*お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容により、お買い上げの販売店に修理をご依頼してください。

●保証期間経過後の修理

修理可能な場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

●補修性能部品の保有期間

この製品の補修性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打切後9年です。

●アフターサービスについてご不明の場合

修理のご相談やご不明点は、お買い上げの販売店、または当社にお問い合わせください。

また、ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、当社にお問い合わせください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料は、診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品及び補助材料です。

消費生活用製品安全法・安全表示制度に基づく本体表示について

〈本体への表示内容〉

※経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右記の表示を本体に行っています。

〈設計上の標準使用期間とは〉

- 運転時間や温湿度など、右記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものではありません。
- 設置状況や環境、使用頻度が右記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、7年より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。



設計上の標準使用期間 7年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。

標準的な使用条件

区分	項目	条件
環境条件	電圧	100V
	周波数	50Hz/60Hz
	温度	20℃
	湿度	65%
負荷条件	設置条件	P21～P25の記載内容による標準設置
	負荷	6.0kg/7.0kg
	コース	標準コース
	給水圧力	0.03～0.8MPa
使用時間及び回数	給湯・給水	20℃±15℃
	1日の平均使用回数	1.5回
	1回の使用時間	34分
	1年間の使用日数	365日

仕様

仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

種類	全自動電気洗濯機	品番	JW60WP01	JW70WP01
洗濯方式	うず巻式	標準洗濯容量	6.0kg	7.0kg
外形寸法	幅565×奥行534×高さ835(mm)	標準脱水容量	(乾燥時の布質量)	(乾燥時の布質量)
製品質量	30kg	標準水量	52L	55L
水道水圧	0.03～0.8MPa (0.3～8kgf/cm ²)	標準使用水量 (シャワーすぎ+ためすぎ1回)	125L	130L
電源	100V・50Hz/60Hz共用	定格消費電力	380W/450W (50/60Hz)	390W/470W (50/60Hz)

- 品番の()内記号は、色記号です。
- 待機時消費電力(電源スイッチを切にした状態の電力)は、0(ゼロ)です。
- 標準洗濯・脱水容量は、JIS(日本工業規格)で規定された布地で乾燥状態の場合です。

この製品は法律で表示を義務づけられた特定の化学物質^[注1]を含有していません^[注2]。

(JIS C 0950の電気・電子製品の特定の化学物質の含有表示方法に従って表示しております)

【注1】「鉛及びその化合物」、「水銀及びその化合物」、「カドミウム及びその化合物」、「六価クロム化合物」、「ポリプロモビフェニル」及び「ポリプロモジフェニールエーテル」の6種類の化学物質

【注2】対象の化学物質の含有率が基準値以下であることを意味します。また、除外項目は対象としておりません。

メモ

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検 長年ご使用の全自動電気洗濯機の点検を！



こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる。
- 電源プラグ・電源コードに傷が付いていたり、触れると通電しなかったりする。
- 洗濯・脱水槽が止まりにくい。
- 水もれがする。(ホース、マジックつぎ手)
- こげくさい臭いや運転中に異常な音や振動がする。
- 本体にさわるとビリビリ電気を感じる。
- その他の異常・故障がある。

こんなときは

使用を中止してください。

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、水栓を閉めて、必ずお買い上げの販売店に点検をご相談ください。

こんなことはありませんか

電源プラグにほこりやごみがたまっている。

ほこりやごみを取り除いてください。

【販売元】

株式会社MOA STORE

〒136-0076 東京都江東区南砂2-7-5 鴻池ビルディング1F

マクスゼン テクニカルセンター

TEL : 0570-099455 Mail : mtc@maxzen.jp

受付時間：平日 9：00～17：00 月曜日～金曜日（祝日を除く）

※夏季、年末年始を除く



品番	JW60WP01/JW70WP01
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	電話 () -
もよりのお客さま ご相談窓口	電話 () -